

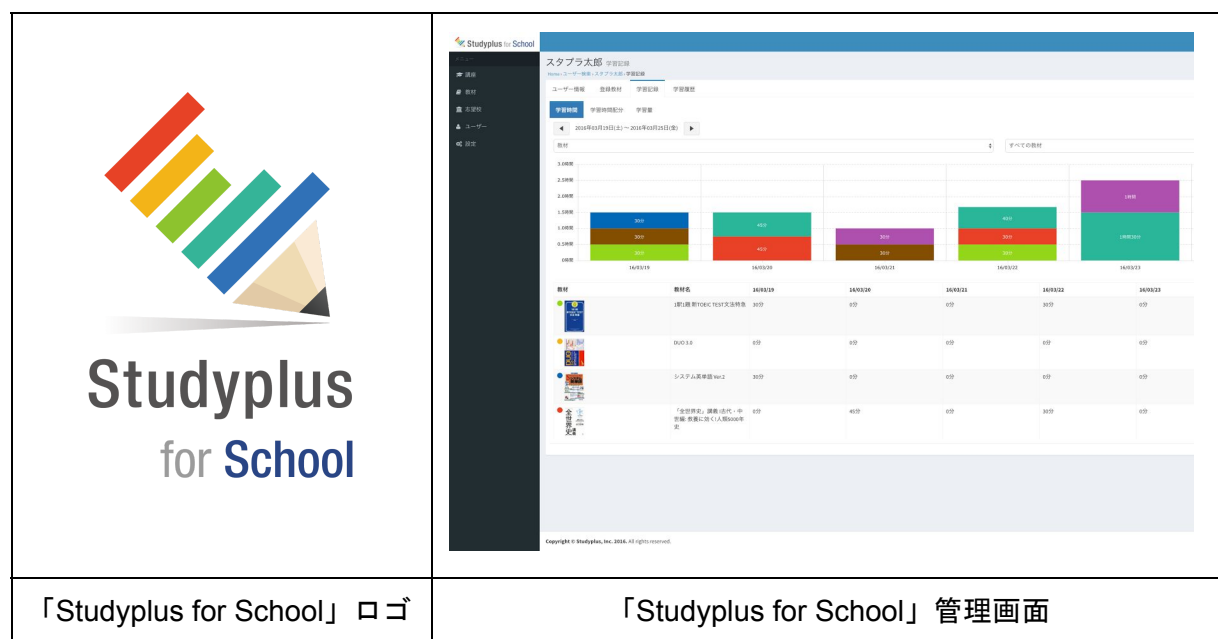
報道関係者各位

2017年5月22日  
スタディプラス株式会社

## 教育事業者向け学習進捗管理ツール「Studyplus for School」、 代々木ゼミナール全校・全生徒に導入

スタディプラス株式会社（東京都渋谷区、代表取締役社長：廣瀬 高志）は、教育事業者向け学習進捗管理ツール「Studyplus for School」 <https://fs.studyplus.jp/> が、2017年度（2017年4月）より学校法人高宮学園代々木ゼミナール（東京都渋谷区、理事長：高宮 英郎）の全校・全生徒に導入されたことを発表いたします。

「Studyplus for School」は、学習管理SNS「Studyplus」 <http://studyplus.jp/> の教育事業者向け学習進捗管理パッケージです。



「Studyplus for School」ロゴ

「Studyplus for School」管理画面

教育事業者は、「Studyplus for School」の分析ツールや管理画面を用いて、生徒が「Studyplus」に記録した学習記録<sup>\*1</sup>を把握することが可能になります。その情報を分析し、授業や面談に活かして生徒の学習サポートのクオリティが向上します。また、「Studyplus for School」を導入することで「Studyplus」のコミュニケーション機能を通じて教育事業者と生徒との接点を増やし、より密できめ細やかなコミュニケーションを可能にします。

これまで教育事業者は、授業や課題テスト、アンケートなどを通して、生徒の教室外での学習進捗と実態を把握しておりました。「Studyplus for School」を導入することで、より精緻で広範囲な学習データと密なコミュニケーションの場を活用し、教育事業者が提供する講義・サービス・教材などの学習効果・効率のさらなる向上が可能になります。

\*1 生徒は、利用開始時に利用規約に同意し、在籍する教育事業者に情報を提供することを承諾します。

代々木ゼミナールは、2016年4月より一部のコース・生徒に対して、「Studyplus for School」を導入いたしました。

学習力の向上や志望大学の合格には、授業だけではなく授業外における生徒の自習も欠かせません。従来、代々木ゼミナールは、生徒の自習に関しては、面談時における定性的な申告に基づいて管理をしておりました。2016年4月より「Studyplus for School」を導入したことで、面談前に生徒の自習を定量的に把握することができるようになり、学習指導の質を大きく向上することに成功しました。

この成功を受け、2017年4月より、代々木ゼミナールの全校・全生徒に「Studyplus for School」を導入することになり、今後も代々木ゼミナールは、「Studyplus for School」を活用した学習指導の質の向上を目指してまいります。

スタディプラスは、今後「Studyplus for School」を、大学受験向けの学校法人や塾予備校に限らず、高校・大学、語学スクール・資格スクールなど幅広く各種教育事業者に展開してまいります。

◆学習管理SNS「Studyplus」 <https://studyplus.jp/>

2012年3月に提供を開始した学習管理 SNS。学習記録の可視化や学習仲間とのコミュニケーションなどの機能により、学習の習慣化をサポートしている。利用者数は累計230万アカウント（2017年5月現在）を超え、大学進学希望者の3人に1人が利用。高校生の良く使う勉強系アプリでNo.1に選出。（リクルート進学総研「高校生価値意識調査 2014」調べ）

◆スタディプラス株式会社

代表者：代表取締役 廣瀬 高志

住所：東京都渋谷区代々木1-4-1

設立：2010年5月20日

【サービスに関するお問い合わせ先】

スタディプラス株式会社 For School事業部 長田

TEL：03-6276-3312

E-mail：ad-info@studyplus.jp

【報道機関からのお問い合わせ先】

スタディプラス株式会社 広報担当 黒須

TEL：03-6276-3312

E-mail：pr@studyplus.jp